

分野	科目名	単位	時間数	対象学年	開校時期	担当
専門分野	基礎看護学概論Ⅰ (看護学概論)	1	30	1	前期	長元 香利

<講義のねらい>

看護について学びを深め、看護の対象は「生活者としての人間」であることを理解する。また、看護の概念について理解する。看護の役割を理解し、看護の提供のしくみを学ぶ。

<到達目標>

- 1 看護の歴史を理解し、看護の本質を理解する。
- 2 看護の主要概念（環境・人間・健康・生活）を理解する。
- 3 看護における倫理について理解する。
- 4 保健医療福祉チームにおける看護の役割を理解する。
- 5 看護職に求められる姿勢について理解する。

<評価> 終了試験・課題レポート・出席状況や講義中の態度を加味して、総合的に評価する。

<テキスト> 看護学概論 基礎看護学1（医学書院）

<参考図書>①「看護覚え書」フローレンス・ナイチンゲール著 湯楨ます訳（現代社）

②「看護の基本となるもの」ヴァージニア・ヘンダーソン著（日本看護協会出版会）

<講義計画>

科目 内容	回数	講義内容	方法
	1	1 看護の本質【看護】 (1) 看護の歴史と変遷	講義
	2	1 看護の本質【看護】 (2) 看護の定義 (3) 看護の目的	講義
	3	1 看護の本質【看護】 (4) 看護の機能と役割	講義
	4	2 統一体としての看護の対象【人間】 (1) ホメオスタシス (2) ストレスと適応【環境】 (3) ニーズからみた看護の対象	講義
	5	2 統一体としての看護の対象【人間】 (4) 発達し続ける存在としての看護の対象 (5) 生活者としての看護の対象【生活】	講義
	6	3 健康と看護【健康】 (1) 健康の概念 (2) 健康の変遷 (3) 健康の段階	講義
	7	3 健康と看護【健康】 (4) 国民の健康に関する統計	講義
	8	4 看護の理論と実践 (1) 看護理論家における看護の定義 (2) ナイチンゲール・ヘンダーソン	講義

	回数	講義内容	方法
科目 内 容	9	4 看護の理論と実践 (3) さまざまな看護理論	演習
	10	5 看護における倫理 (1) 看護倫理とは (2) 職業倫理として看護倫理 (3) 医療専門職の倫理規定	講義
	11	5 看護における倫理 (4) 患者の権利とインフォームドコンセント (5) 現代医療におけるさまざま倫理的問題	講義
	12	6 医療の提供者と提供のしくみ (1) 看護と保健医療福祉の連携 (2) 医療施設と看護活動の場 (3) 保健・医療・福祉チームで共に働く主な職種	講義
	13	6 医療の提供者と提供のしくみ (4) 継続看護とチームアプローチ、ネットワークの構築と活用 (5) 地域包括ケアシステム	講義・演習
	14	7 看護の専門性 (1) 看護の専門家（認定・専門看護師、特定行為） (2) 期待される看護職像、キャリアデザイン	講義
	15	7 看護の専門性 (3) 21世紀における看護のあり方、社会の要望と期待	講義
備考		看護とは何か、看護師とはどのような職業かを学びます。看護を志す初学者に、講義の中でたくさんの意見を交わし、自分の考えを伝えられるようになりましょう。看護職としての専門職になる素地づくりの機会です。	

分野	科目名	単位	時間数	対象学年	開校時期	担当
専門分野	基礎看護学概論Ⅱ (看護過程)	1	30	1	後期	川田 由美
<p><講義のねらい></p> <p>看護実践の基本となる問題解決能力と看護実践に伴う記録の基本的方法を修得する。</p>						
<p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 看護の実践方法としての看護過程について理解する。 2 看護過程を展開する際の基盤となる考え方について理解する。 3 看護過程の構成要素と各段階の展開方法を理解する。 4 診療情報としての看護記録の意義を理解する 5 事例演習を通し、問題解決の思考による看護過程の展開方法を身につける。 						
<p><評価> 終了試験・出席状況</p>						
<p><テキスト> 基礎看護技術Ⅰ (医学書院)</p> <p>看護がみえる vol.4 看護過程の展開 (メディックメディア)</p> <p>カルペニート看護診断ハンドブック</p>						
<p><参考図書></p> <p><講義計画></p>						
科目内容	回数	講義内容				方法
	1	<ol style="list-style-type: none"> 1 看護過程の定義 2 看護過程の意義 3 看護過程の構成要素と相互作用 4 看護過程とPOS 				講義
	2	<ol style="list-style-type: none"> 1 看護過程の考え方と看護理論 2 ゴードンの機能的健康パターンと看護過程 				講義
	3	<ol style="list-style-type: none"> 1 看護記録 <ul style="list-style-type: none"> (1) 看護記録の法的位置づけ (2) 看護記録の定義と目的 (3) 看護記録の管理方法 (4) 看護記録の構成とその内容 2 本校における看護過程展開様式－受持対象記録Ⅰ～Ⅴ 				講義
	4	<ol style="list-style-type: none"> 1 アセスメントの定義 2 アセスメントの過程 3 情報収集 (データ収集) の方法 				講義
	5	情報 (データ) 分析の方法				講義
	6	紙上事例を用いたアセスメント (情報収集と分析)				講義 演習

科目 内容	回数	講義内容	方法
	7	1 看護診断プロセス (1) 看護診断の定義 (2) 看護診断の構造 (3) 看護診断の種類 2 共同問題 (1) 共同問題とは (2) 看護診断と共同問題の違い (3) 共同問題の記述方法	講義
	8	紙上事例を用いた看護診断プロセス	講義 演習
	9	1 関連図の記載方法 2 紙上事例を用いた関連図の記載	講義 演習
	10	1 看護問題（看護診断）の記述方法 2 問題の優先順位の決定 3 看護目標の設定	講義
	11	1 看護計画の立案 2 紙上事例を用いた看護計画の立案	講義 演習
	12	1 看護計画の実施と評価 (1) 実施上の留意点 (2) 評価の視点 (3) 評価の記述方法 2 SOAPの記述方法	講義
	13	総合演習：紙上事例を用いた看護過程の展開	講義 演習
	14		
	15		

分野	科目名	単位	時間数	対象学年	開校時期	担当
専門分野	日常生活援助技術Ⅲ (清潔)	1	30	1	前期	徳安 美和子
<p><講義のねらい></p> <p>1 清潔の意義を理解し、身体各部位の清潔への援助方法を習得する。</p> <p>2 衣生活の意義を理解し、衣生活の援助方法を習得する。</p>						
<p><到達目標></p> <p>1 身体各部の清潔のアセスメントと清潔援助ができる。</p> <p>2 衣交換のアセスメントと援助ができる。</p>						
<p><評価> 出席、課題提出、終了試験</p>						
<p><テキスト> 系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ (医学書院)</p>						
<p><参考図書></p> <p>系統別看護学講座 専門基礎 解剖生理学 (医学書院)、看護技術プラクティス (Gakken)、 技術が見える基礎看護技術 (MEDIC MEDIA)、看護技術講義・演習ノート (サイオ出版)</p>						
<p><講義計画></p>						
科目内容	回数	講義内容				方法
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の清潔が生体や精神に及ぼす影響と清潔の意義 ・清潔行動に影響を与える因子とアセスメント ・全身の清潔保持の種類と特徴 ・衣生活の意義 				講義
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・臥床患者の寝衣交換・全身清拭の方法・留意事項 				講義・演習
	3					
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・臥床患者の寝衣交換の実施 				演習
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・臥床患者の全身清拭の実施 				
	6					
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・頭皮・頭髮の構造と清潔の目的 				講義・演習
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・頭皮・頭髮の清潔保持のためのアセスメントと実施時の留意事項 ・ケリーパッド・洗髪車を用いた洗髪の実施 				
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・シャワー浴の目的と特徴 				
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴・シャワー浴実施時の方法・留意事項 ・入浴・シャワー浴の実施 				講義・演習
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・手・足浴の目的・方法・留意事項 				講義・演習
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・手・足浴の実施 ・陰部の構造と陰部の清潔の目的・アセスメント・方法・留意事項 ・陰部洗浄の実施 				
	13	実技試験 (全身清拭・洗髪)				
	14	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内の構造と口腔ケアの目的・アセスメント・方法・留意事項 				講義・演習
15	<ul style="list-style-type: none"> ・臥床患者の口腔ケアの実施 ・整容の意義と方法 					

分野	科目名	単位	時間数	対象学年	開校時期	担当
専門分野	小児看護学概論Ⅰ	1	30	1	後期	浜崎 綾子
<p><講義のねらい></p> <p>子どもは常に成長・発達している存在であり、その成長・発達は子どもを取り巻く社会・家族・環境に影響を受けることを理解する。また子どもの権利と小児看護の変遷を学び、子どもが過ごす様々な場所で小児看護に携わる者の役割と課題について学び・考える。</p>						
<p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小児看護の変遷と小児看護の課題を理解する。 2 子どもを取り巻く環境（社会背景、法律・施策）を理解する。 3 子どもの権利と小児看護における倫理的配慮について理解することができる。 4 発達課題と発達理論が理解できる。 5 子どもの心身の発達を理解する。 						
<p><評価> 課題提出、終了試験</p>						
<p><テキスト> 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論（医学書院）</p>						
<p><参考図書></p> <p>小児看護学概論・小児保健 第6版（メヂカルフレンド社）</p> <p>小児看護学概論（南江堂）、小児の発達と看護（ナーシング・グラフィカ）</p>						
<p><講義計画></p>						
科目内容	回数	講義内容				方法
	1	小児看護の対象、小児看護の場と特徴、他職種協働 小児看護の変遷・小児看護の役割・子ども中心のケア				講義
	2	子どもの権利、小児医療・小児看護における倫理的配慮 子どもの虐待防止（虐待防止法を含む）				講義
	3	子どもと家族をとり巻く法律と政策 ・児童福祉、母子保健、医療費の制度 ・予防接種、学校保健、特別支援教育				講義
	4	子どもにとっての「家族」、家族のアセスメント				講義
	5	諸統計からみた子どもと家族 子どもと家族の健康における看護師の役割				講義・ワーク
	6	発達課題と発達理論（ボウルビー、エリクソン、ピアジェ）				講義・ワーク
	7					
	8					
	9	小児の成長・発達の一般原則 成長・発達に影響する因子 子どもの成長・発達のアセスメント				講義
10	新生児の心身の成長・発達 ・形態的特徴・身体生理的特徴・各機能の発達				講義	

回数	講義内容	方法
1 1	乳児期の心身の成長・発達 ・形態的特徴・身体生理の特徴・感覚機能・運動機能・知的機能 ・コミュニケーション機能・情緒と社会的機能	講義
1 2	幼児期の心身の成長・発達 ・形態的特徴・身体生理の特徴・感覚機能・運動機能・知的機能 ・コミュニケーション機能・情緒と社会的機能	講義
1 3	学童期の心身の成長・発達 ・形態的特徴・身体生理の特徴・感覚運動機能・知的情緒機能 ・社会的機能	講義
1 4	思春期の心身の成長・発達 ・形態的特徴・身体生理の特徴・知的・情緒・心理・社会的機能	ワーク
1 5	発達段階ごとの心身の発達のまとめ	講義

分野	科目名	単位	時間数	対象学年	開校時期	担当
専門分野	精神看護学概論 I	1	30	1	後期	出永 智子
<p><講義のねらい></p> <p>現代社会における精神保健・看護ニーズの高まりの背景を知り、精神障害とは何か、精神障害者とはどのような人々か、その基本を理解する。</p> <p>精神看護学緒学の基本的な考え方、精神看護学の心構えを学ぶ。</p> <p>精神科看護師として知っておくべき法制度を学ぶ。</p>						
<p><到達目標></p> <p>1 精神に健康問題をもつ人の理解の方法と、看護職の担う役割・機能について理解できる。</p> <p>2 精神障害者の社会における処遇のされ方および関連する制度・法律、精神科医療を歴史変遷から理解できる。</p>						
<p><評価> 授業態度(10%) 提出物(10%) 終了試験(80%)</p>						
<p><テキスト> 精神看護学の基礎 (医学書院) 精神保健福祉 (医学書院)</p> <p>精神看護学の発展 (医学書院)</p>						
<p><参考図書></p> <p>講義中に適宜資料を配布</p>						
<p><講義計画></p>						
科目内容	回数	講義内容				方法
	1	<p>1 精神看護学とは</p> <p>(1)精神看護学とその課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における精神医療ニーズの動向 ・日本の精神科医療の現状 				講義
	2	<p>(2)精神障害とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者の法的定義 ・精神障害者がかかえる「現実の問題」と「生きにくさ」 <p>(3)個別性と普遍性</p> <p>(4)精神看護学の基本的な考え方</p>				講義
	3	<p>2 精神の健康と障害</p> <p>(1)精神の健康とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神の健康と障害の3つの側面 ・精神の健康の基準 				講義
	4	<p>(5)心のはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識 感情 学習と行動 知能 心の理論 				
	5	<p>(2)精神障害の捉え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾患モデルと障害モデル ・国際生活機能分類 (I C F) の考え方 				講義
	6	<p>(3)症状とはなにか</p>				講義
7	<p>(4)さまざまな精神症状</p>					

回数	講義内容	方法
8	3 社会の中の精神障害	講義 グループワーク
9	(1)精神障害と治療の歴史 (2)日本における精神医学・精神医療の流れ	
10	(3)精神障害と社会学 ・逸脱とスティグマ	
11	4 精神障害と法制度 (1)精神科看護と法律	講義
12	(2)精神科領域に必要な法律と制度 (3)法律・制度における課題	講義
13	5 おもな精神保健医療福祉対策とその動向 (1)自殺対策 (2)依存症対策 (3)アルコール依存対策 (4)ギャンブル、ゲーム障害対策	講義
14	6 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス (1)感情労働とは (2)看護師の感情ワーク	講義
15	7 リエゾン精神看護 (1)リエゾン精神看護とは (2)リエゾン精神看護の役割	講義

分野	科目名	単位	時間数	対象学年	開校時期	担当
専門分野	成人看護学概論	1	30	1	後期	村上 眞子
<p><講義のねらい></p> <p>成人期は、人のライフサイクルの中で身体的、精神的に安定し、社会・経済的に大きな役割と責任を担っており、外部環境から影響を受ける機会も多い年代である。成人期の健康生活を多角的に捉える視点を学び、成人の生活や生き方、健康問題について理解する。また、健康状態や健康問題に対応するための看護アプローチの基本的な考え方を学ぶ。</p>						
<p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 成人期にある対象の特徴や生活を理解し、健康の保持・増進に向けての看護者の役割がわかる。 2 成人の健康の現状と動向を理解するとともに、地域、労働者に対する保健活動がわかる。 3 健康状態や健康問題に対応するための看護アプローチの方法がわかる。 						
<p><評価> 終了試験、出席状況</p>						
<p><テキスト> 成人看護学総論（医学書院）</p>						
<p><参考図書> 国民衛生の動向</p>						
<p><講義計画></p>						
科目内容	回数	講義内容				方法
	1	成人期にある人の理解				講義
	2	成人各期の成長発達の特徴と健康問題				講義
	3					講義
	4					講義
	5	成人をとりまく今日の状況				講義
	6	成人期における健康障害－生活習慣・職業・ストレス・セクシュアリティに関連する健康障害				講義
	7					講義
	8	成人保健と健康動向				講義
	9					講義
	10	成人を対象とするヘルスプロモーション施策				講義
	11					講義
	12	労働者に対する保健活動				講義
	13	成人への看護アプローチ方法－アンドラゴジー・エンパワメント・自己決定、ストレスコーピング・危機理論				講義
	14					講義
15	健康レベルに応じた看護の特性－急性期・慢性期・回復期（リハビリ期）終末期				講義	

分野	科目名	単位	時間数	対象学年	開校時期	担当
専門分野	日常生活援助技術Ⅰ (環境、活動と休息)	1	30	1	前期	鶴本 真奈美
<p><講義のねらい> 日常生活の場と生活動作を整える技術を習得する。</p>						
<p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 療養における患者の快適な生活環境の調整ができる。 日常生活における活動と休息の意義が述べられる。 休息・睡眠の基本的援助ができる。 生活行動の基盤となる姿勢、体位、移動の援助ができる。 						
<p><評価> 終了試験、提出物、出席状況、技術試験(ベッドメイキング)</p>						
<p><テキスト> 基礎看護技術Ⅰ、基礎看護技術Ⅱ(医学書院)、看護技術プラクティス(学研)</p>						
<p><参考図書> 看護学生のためのヒヤリハットに学ぶ看護技術(医学書院) 看護が見える Vol.1 基礎看護技術(メディックメディア)</p>						
<p><講義計画></p>						
科目 内容	回数	講義内容				方法
	1	1 環境の調整に必要な知識 (1) 環境調整・整備する意義 (2) 環境条件				講義
	2	1 環境の調整に必要な知識 ・環境の実際				演習
	3	2 活動と休息の援助 (1) 活動・運動の意義・影響する要因 (2) 活動・運動のアセスメント (3) 床上運動・活動の援助 (4) 療養生活におけるレクリエーション				講義
	4	2 活動と休息の援助 (5) 休息・睡眠の意義・影響する要因 (6) 休息・睡眠のアセスメント (7) 休息・睡眠を促す援助				講義
	5	3 安楽確保の援助 (1) 安楽な姿勢・体位の特徴 (2) ボディメカニクスの原理と看護実践への活用 (3) ケアを通じてもたらされる安楽				講義
	6	4 病床環境を整える技術 (1) ベッドメイキング (2) 環境整備、リネン交換				講義
	7	ベッドメイキング				演習
8						

科目内容	回数	講義内容	方法
	9	5 体位変換、リネン交換、体位の保持について	講義
	10	5 体位変換、リネン交換、体位の保持 ・体位変換	演習
	11	・リネン交換 ・体位の保持	
	12	ベッドメイキング	技術試験
	13	6 車椅子への移乗、車椅子での移動・移送	講義 演習
	14	(1) ストレッチャーへの移乗 (2) ストレッチャーでの移動・移送	
	15	7 歩行時の援助 ヒヤリハットについて	講義・演習

分野	科目名	単位	時間数	対象学年	開校時期	担当
専門分野	臨床看護学 I (回復期・慢性期・終末期の看護)	1	30	1	後期	中 明日香
<p><講義のねらい></p> <p>1 ライフサイクルから捉えた対象の健康上のニーズを学ぶ。</p> <p>2 各健康期の特徴と看護の役割が理解できる。</p>						
<p><到達目標></p> <p>1 ライフサイクルから捉えた対象の健康上のニーズと看護の役割がわかる。</p> <p>2 病期（健康期・急性期・慢性期・回復期・終末期）の特徴と看護の役割を学ぶ。</p>						
<p><評価> 授業態度 提出物 終了試験</p>						
<p><テキスト> 系統別看護学講座専門分野 成人看護学〔1〕 成人看護学総論（医学書院）</p> <p>系統別看護学講座専門分野 老年看護学</p> <p>系統別看護学講座専門分野 小児看護学〔1〕 小児看護学概論 小看護学総論</p> <p>系統別看護学講座別巻 緩和ケア（医学書院）</p>						
<p><参考図書> 系統看護学講座専門分野 I 基礎看護技術 II（医学書院）</p> <p>看護技術プラクティス（学研）</p>						
<p><講義計画></p>						
科目内容	回数	講義内容				方法
	1	<p>I 各健康期の特徴と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病期（健康期・急性期・慢性期・回復期・終末期）の定義 ・病期ごとの看護の特徴 <p>II ライフサイクルから捉えた対象の健康上のニーズ</p> <p>1 健康期の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴と健康上のニーズ（子ども、成人、高齢者） ・家族の健康上のニーズ 				講義
	2	<p>2 急性期の特徴と看護の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の危機状況とは ・生命の危機状態にある患者の捉え方 				講義
	3	<p>III 回復期</p> <p>1 ライフサイクルにおける回復期の特徴と看護の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般状態・機能障害・日常生活動作のアセスメント ・合併症の予防と ADL 支援 ・社会資源の活用と社会参加を促す看護 ・回復を支えるチームアプローチ 				講義
	4	<p>2 安静が必要な対象の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安静の必要性 ・安静時の身体的援助・ニード充足の援助、体動制限の苦痛の緩和の方法 				講義

科目内容	回数	講義内容	方法
	5	IV 慢性期 1 慢性期の定義 2 ライフサイクルにおける慢性期の特徴と看護の役割	講義
	6	3 セルフマネジメントの構成要素と諸理論 ・セルフケアとセルフマネジメント ・セルフマネジメントと関係する諸理論	講義
	7		
	8	V 終末期	講義
	9	1 ライフサイクルにおける終末期の特徴と看護の役割 ・全人的苦痛（身体的・心理的・社会的・霊的苦痛） ・エンド・オブ・ライフケア	
	10	2 終末期を取り巻く現状 3 家族のケア ・緩和ケア時の家族の理解 ・遺族ケア・グリーフケア	
	11	4 終末期における看護倫理と意思決定支援 ・死の尊厳・態度、手続き	講義
	12	5 看取りの時のケアと死後の処置 ・死が近づいたときの身体的・心理的变化 ・症状マネジメントとケアの視点 ・死後（臨終後）の身体的変化、判定・脳死 ・看取り、死後の処置	講義
	13		
	14	VI 事例展開	演習 講義
	15	1 セルフマネジメントを推進する看護展開 ・指導技術 ・セルフケアマネジメントを目指す看護の実際 ・糖尿病を持つ対象のセルフマネジメント支援	

分野	科目名	単位	時間数	対象学年	開校時期	担当
専門分野	母性看護学概論	1	30	1	後期	五十嵐 二佐子
<p><講義のねらい></p> <p>母性の概念及び母性の特徴について総合的に理解し、母性の健康保持・増進に向けての看護を学ぶ。</p>						
<p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 母性の特性から、母性看護の概念・意義について理解する。 リプロダクティブヘルスの意義を理解する。 母性の発達段階に応じた健康や健康問題を理解し、健康保持・増進のための看護がわかる。 母性およびその家族への看護の必要性がわかる。 母性の対象をとりまく保健・医療・福祉の現状がわかる。 生命倫理について自己の考えを深めることができる。 						
<p><評価> 終了試験、出席状況、課題提出状況</p>						
<p><テキスト> 母性看護学[1] 母性看護学概論 母性看護学[2] 母性看護学各論</p>						
<p><参考図書> 国民衛生の動向</p>						
<p><講義計画></p>						
科目内容	回数	講義内容				方法
	1	母性看護の概念、リプロダクティブヘルス／ライツと母性看護				講義
	2	母性看護の変換、母子保健統計と現状				講義
	3	母性保健の法律・制度				講義
	4	母性看護活動の場と役割／母性看護と倫理				講義
	5	人間の性と生殖① 性の概念と多様性				講義
	6	人間の性と生殖② 性周期と生殖のメカニズム				講義
	7	リプロダクティブヘルスケア ・家族計画・受胎調節、人工妊娠中絶、性感染症、喫煙・飲酒				講義
	8	・ドメスティックバイオレンス(DV)、虐待と母子関係 国際化社会と母性看護・災害時の妊産婦と家族への支援				講義
	9	女性のライフサイクル各期における健康と看護① 思春期・成熟期				講義
	10	女性のライフサイクル各期における健康と看護② 更年期・老年期				講義
	11	女性のライフサイクル各期における健康課題・健康問題と看護①				ワーク
	12	女性のライフサイクル各期における健康課題・健康問題と看護②				ワーク
	13	女性のライフサイクル各期における健康課題・健康問題と看護③				ワーク
	14	女性のライフサイクル各期における健康課題・健康問題と看護④				発表
15	女性のライフサイクル各期の看護				講義	

分野	科目名	単位	時間数	対象学年	開校時期	担当
専門分野	老年看護学概論	1	30	1	後期	塚田 美華
<p><講義のねらい></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 老年期にある対象の身体的、精神的、社会的変化を知り、老年者のライフステージとその健康課題を理解する。 2 社会構造の変化や人口の高齢化に伴う高齢者の保健・医療・福祉の問題に対する理解を深める。 						
<p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 老年期を生きる人々の老化に伴う身体的・精神的・社会的特徴を知る。 2 高齢者をとりまく社会、保健・医療・福祉の動向がわかる。 3 高齢者の生活を維持するための家族及び地域の役割、ソーシャルサポートシステムの構造を理解する。 4 高齢者を介護する家族の看護がわかる。 5 自分なりの老年観が述べられる。 						
<p><評価> 終了試験、提出物状況、出席状況</p>						
<p><テキスト> 老年看護学（医学書院） 国民衛生の動向</p>						
<p><参考図書> ユマニチュード入門</p>						
<p><講義計画></p>						
講義内容		講義内容			方法	
	1	1 老年期の理解 (1) 老年期の定義・意義 (2) 加齢と老化			講義	
	2	1 老年期の理解 (3) 加齢に伴う変化（身体的、精神的、社会的機能の変化） (4) 生活の変化			講義	
	3	1 老年期の理解 (6) 老年期の発達と成熟 (7) 高齢者の多様性、ライフヒストリー			講義	
	4	2 高齢者をとりまく社会 ・超高齢社会の統計的輪郭			講義	
	5	3 高齢者をとりまく社会・制度 (1) 老人福祉法 (2) 医療保険制度、高齢者医療確保法			講義	
	6	3 高齢者をとりまく社会・制度 (3) 介護保険制度			講義	
	7	4 老年看護の特徴 (1) 老年看護の基本 ・老年看護の特徴、チームアプローチ（多職種連携） ・高齢者の人生の質の保証			講義	
	8	4 老年看護の特徴 (1) 老年看護の基本 ・老年看護における概念、理論 (2) 老年看護の倫理 ・高齢者差別 ・高齢者の権利擁護			講義	

回数	講義内容	方法
9	4 老年看護の特徴 (2) 老年看護の倫理 ・高齢者虐待 ・安全確保と身体拘束	講義
10	5 高齢者疑似体験	演習
11	6 認知症、ユマニチュード	講義
12	7 高齢者と家族 (1) 高齢者と家族の機能 (2) 介護家族の課題	講義
13	7 高齢者と家族 (3) 介護家族の生活と健康 看護の対象としての家族、介護者の健康、介護者の社会生活	講義
14	7 高齢者と家族 (4) 介護家族への看護	講義
15	8 老年観	グループ学習